

到津の森公園将来ビジョン（素案）に対する 市民意見募集の結果について

1 意見募集期間

令和6年1月17日（水）から令和6年2月16日（金） 31日間

2 意見提出状況

(1) 提出をいただいた方 19人

(2) 提出された意見数 57件

(3) 提出方法

方法	電子申請	持参
人数	16人	3人
件数	53件	4件

(4) 意見の内訳

	項目	件数
1	ビジョン全般	2件
2	基本方針1 みんなに愛され、これからを一緒につくっていく「市民とともに歩む公園」	4件
3	基本方針2 自然や命の大切さへの理解を深め、楽しく学ぶ「自然・環境の学び舎」	1件
4	基本方針3 その人その人にあった楽しみ方・過ごし方を生む「多彩な楽しみに出会える空間」	21件
5	基本方針4 動物がおりのまま幸せに暮らすとともに、誰もが安心して過ごすことができる「動物も人も幸せな森」	8件
6	基本方針5 高品質なサービスを提供し続ける「いつでも未来を見据えた運営」	7件
7	取組姿勢1 自然や立地など到津の森公園の強みをいかし、ここにしかない価値を磨き上げる	3件
8	取組姿勢2 多様な情報発信と積極的なコミュニケーションの充実を図る	11件

3 意見の反映状況

	分類	件数
1	既に掲載済み	2件
2	ビジョンに追加修正する	4件
3	今後の参考とする	47件
4	その他（要望など）	4件

到津の森公園将来ビジョン（素案）に対する市民意見の概要及び市の考え方

【意見の反映状況】

- ①既に掲載済み
- ②ビジョンに追加修正する
- ③今後の参考とする
- ④その他(要望など)

NO	意見の概要	市の意見	反映状況
全般			
1	全体的な素案については概ね同意する。	基本理念である「かけがえのない自然やいのちを世代を超えて未来へつなぐ公園」を目指していきます。	①
2	たくさんの緑に囲まれた市民がみんなで支える市民に愛される到津の森公園が大好きで、これからもみんなが楽しめる、癒される、応援する動物園であり続けてほしい。私もこれからもずっと「友の会」の会員として応援していきたい。		③

基本方針1 「市民とともに歩む公園」			
3	県や民間企業との更なる連携（シナジー効果）を。	「みんな」に様々な場面で関わっていただき、「みんな」と一緒に公園の未来を作っていきたいと考えています。	③
4	地元企業との更なる連携を強化をしてはどうか。		③
5	障がい者(児)の活躍の場をつくってはどうか。		③
6	Amazon欲しいものリストの活用。		③

基本方針2 「自然・環境の学び舎」			
7	動物園教育のしっかりしたコーチャーズ番組とするため、園関係者の手作りだけでなく、現場教員との研究会、教員出身のボランティアも交えて、指導案を書いたり、コンテンツを考えたりしてはどうか。	動物の生態や自然を活用した多彩な展示やプログラムの提供をし続けたいと考えています。	③

NO	意見の概要	市の意見	反映状況
基本方針3「多様な楽しみに出会える空間」			
8	健康づくりの場所として、柱に据えてほしい。健康寿命を延ばすためのウォーキングコース（中央公園→美術館→到津の森）は滞在時間が長くなるのでは。	ご意見を踏まえ、基本方針3で「自然観察、健康づくりなど」の文言を追加いたしました。	②
9	全般的にこれまでの計画の延長線に感じられ、もう少し挑戦的なイメージも醸し出したら良いのではないかと。緑豊かな自然にふれることは心の癒しなどにつながる。「健康・福祉」に大きく寄与するというテーマを打ち出してはどうか。		②
10	到津の森公園を通り抜けてウォーキングを行う市民のために、開園時間を早め、「シニア向け到津の森公園横断チケット」のような年間パスポートを作ってはどうか。将来的に中央公園なども含めたウォーキングコースの整備を行うことも期待したい。	「動物を見る」以外にも、年齢やライフスタイルにとらわれず、人それぞれにあった多様な楽しみ方や過ごし方ができる環境づくりに努めていきます。	③
11	年長者の健康づくりとして、格安の年間パスを新設し、散歩コースを設定してはどうか。民間の協賛で、一定回数以上の参加者に景品を配るとすることもできるのではないかと。		③
12	年長者の生きがいづくりとして乳幼児や子どもたちと触れ合う機会・場を作ってはどうか(昔の遊びを教えるなど)。		③
13	認知症予防やひきこもり対策として小動物を活用した企画を考えてはどうか。		③
14	育児疲れの親のリフレッシュとして、子守りをシニアに任せて親は青空の下でヨガ教室などに参加するというのはどうか。		③
15	小学生の体験で、餌の準備やフンの片付けをするなど、小さい子が触れて一緒に過ごせる体験をさせたい。		③
16	市民参加型のイベントにもっと多くの人を巻き込むため、「自由律俳句のコンテスト」はどうか。		③
17	金比羅池も一体となったイベントや、動物好き、公園好き、お花好き以外の方も来たくなるような仕組み、イベントづくりができるとうい。		③
18	到津の森限定イラストグッズを増やして欲しい。		③
19	園内のお土産ショップの魅力向上のため北九州市在住のクリエイター作品や園オリジナルグッズの販売等。		③
20	「人間が食べれる干し草」や「出汁風味のペレット」など展示動物と同じ風味の食事など、話題になるような「面白い食べ物」が人を呼び寄せることに繋がるのではないかと。		③
21	水族館と比べると、動物のグッズ(絵ではなく、写真)も少ないので、そのあたりも考えてほしい。		③
22	動物園内にコワーキングスペースを作って欲しい。		③
23	「文化芸術」の振興はどうか。森の音楽堂ステージや子どもホールもあるため、音楽、演劇、ダンス、美術など、市民の発表(練習)の場としての活用や、「多文化共生」、「国際交流」、「スポーツ」などでも活用できると思う。		③
24	子どもホールを、レストラン、パソコンも打てるような空間としての活用できるスペース、到津遊園時代の資料も展示できるスペースとして活用してはどうか。		③
25	アトラクションを増やして遊園地にするのもいいと思う。	③	

NO	意見の概要	市の意見	反映状況
26	中央公園と到津の森公園の連携をしてほしい。中央緑地公園の池の周辺で観察会や子ども向けのワークショップを行ったり、現在禿山になっている場所には、昔からあった赤松を植林し野鳥観察スポットや理想的なゾウ舎などの建築。	ひびき動物ワールドや県営中央公園を含め、他施設とも連携しながら、地域全体としても多彩な楽しみ方、過ごし方を作っていきたいと考えています。	③
27	県営中央公園と一体となった「到津の森公園」として、魅力アップが進められることを期待する。そのような方向で県との協働を進めていくよう、ビジョンに書き込んでいただきたい。	ご意見を踏まえ「近隣の他施設とも連携…」を「他施設とも連携」に文言を変更します。	②
28	ひびき動物ワールドとの連携をもっと強く打ち出してはどうか。	ご意見を踏まえ「近隣の他施設とも連携…」を「他施設とも連携」に文言を変更します。	②

NO	意見の概要	市の意見	反映状況
基本方針4 「動物も人も幸せな森」			
29	動物たちに幸せな一生を。	動物が自然に近い状態でのびのびと幸せに暮らせる空間を追求し続けてまいります。	③
30	現状いる動物たちのコレクション構想等がもっと盛り込まれるべきである。	この将来ビジョンは、次の20年を見据えたものであるため、状況の変化を見越して、具体的な動物のコレクションプランは盛り込んでいません。 国内の飼育状況、JAZAのコレクションプラン、園の施設など様々な状況を踏まえつつ、「動物の幸せ」と「人の楽しみ」のバランスが取れた飼育・展示方法やプログラムのあり方を考えていきます。	③
31	これから、高齢化や病死等で動物の数が減っていき、空き獣舎が増えてくると思う。将来的にどの種を継続飼育していくか、また既にある空き獣舎をどう活用していくか具体的なイメージをご提示頂きたい。		③
32	入場料を上げて良いので、動物の種類を増やし、また、動物と触れ合えるイベントを設けてほしい。		③
33	動物の数をもう少し増やしてほしい。		③
34	エサをあげられる動物がどんどん減ってるから、増やして欲しい。		③
35	小動物との触れ合いが、もっといつでもできるように工夫してほしい。		「動物の幸せ」と「人の楽しみ」のバランスが取れた飼育・展示方法やプログラムのあり方を考えていきます。
36	エサやりショーみたいなイベントを増やして動物の色々な面が見れるようにしてほしい。		③

基本方針5 「いつでも未来を見据えた運営」			
37	他の動物園の良い取り組みを参考にして、スムーズに取り入れ実践できる環境作り。	質の高いサービスを提供し続けるため、いつも先を見据え、指定管理者とともに、持続的な施設運営に努めていきます。	③
38	予算の柔軟な活用。		③
39	全体的な素案については概ね同意する。 園内で勤務するスタッフの福利厚生、職能給向上やスキルアップ等々、長く働けるような環境づくりを充実させるべきであると考えている。		④
40	飼育員のやりがい搾取とならない為の基本給UPを始めとした待遇改善。		④
41	園スタッフの人材育成のためには仕事内容に見合った収入が必要である。		④
42	飼育員等の人員配置の考え方等がもっと盛り込まれるべきである。		④
43	到津の森公園の名称では動物園とは思えず、読み方もわからず、どこにあるかもわからないので、北九州市立いとづの森動物園にならないか。		「到津の森公園」の名称を変えないでほしいとの意見も一定数あるため、現時点で名称変更は考えていません。

NO	意見の概要	市の意見	反映状況
取組姿勢1「ここにしかない価値を磨き上げる」			
44	到津の森公園には何度か行ったことがあり、3つの強みには納得である。これを磨き上げ、未来に引き継いで頂きたい。	3つの強みをいかし、理念達成に取り組んでいきます。	①
45	歴史がある動物園として日本の動物園の手本になるべきであり、その方向性を示してほしい。	園の強みを磨き上げ、到津の森公園だからこそ提供できる価値を追求するとともに、ここでしか体感できない時間の提供に取り組んでいきます。	③
46	到津の森公園の歴史文化伝承を、職員やボランティアも学び、市民講座として伝えてはどうか。		③

取組姿勢2「多様な情報発信と積極的なコミュニケーションの充実」			
47	ホームページのトップ画面が文字が多いため最近の動物園っぽくない。旅行者などはホームページを見て選ぶため、トップ画面の印象は大事である。有名な動物園を参考にしてほしい。	園の魅力を伝えることができるよう、目的とターゲットを見極め、媒体や発信内容を工夫し、効果的かつ効率的な情報発信に取り組んでいきます。	③
48	音声投稿サイトを利用すればSNSなど文章や動画だけでなく、これまでよりも多くの人に情報を拡散させることが期待できるのではないか。		③
49	到津の森を紹介する動画を作ろうと検討しているので写真・動画素材を提供していただきたい。		③
50	地元企業との連携について、アピールの強化をしてはどうか。		③
51	動物紹介のページを拡大し、「この園にこの人あり」「この動物にこの人あり」という思いを発信してほしい。		③
52	動物福祉への取り組みや森林保全のための活動状況を、もっと気軽にフランクにSNSで発信してほしい。 到津の森公園は自然が多く、動物達がのびのびと過ごしている。また、来園者に向けての動物達の看板が充実している素晴らしい園なので、広く発信してほしい。		③
53	到津ではまだゾウのサリーとランが頑張ってくれているがもう高齢である。動物たちの生き様、背景、世界を伝えることも大切な園の役割であり、もっとサリーとランの存在を大切に発信するべきであると考えている。		③
54	年間の運用計画や予算・実績等の情報をわかりやすく園のHPに開示してほしい。		③
55	役所担当者の動物園運用についての知識をレベルアップするため、実際に何度も園に足を運んで飼育員、園のスタッフ、お客さんの声を聞いてほしい。		③
56	園が設置しているアンケートの活用。		積極的なコミュニケーションの充実に努めていきます。
57	各種サポーターの中には他の動物園をSNSで侮辱する人もいるが、他園にも良さがあるため、その事を各種サポーター向けの取り組みやガイドの中で伝えていくなどの対応が必要なのではないか。		③

